

平成29年度 課の事業一覧

組織名	建設局 総務課		重点項目	局内の連絡調整、予算および決算に関する事務を適正に行う。				
	課長名	田尾 弘		コスト	事業費	人件費	目安の金額	課長 1 人
				平成29年度当初予算額(A)	3,690,790 千円			係長 4 人
				平成28年度当初予算額(B)	3,788,847 千円		134,000 千円	職員 11 人
				増減額(A-B)	-98,057 千円			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				土木職員費	土木職員費	職員給	-	-	3,717,580	3,609,273	-108,307
2				西部整備事務所(コムシテイ)管理経費	西部整備事務所に係る管理経費	庁舎管理	-	-	7,950	7,264	-686
3				建設総務一般	総務および用地管理に係る一般事務経費	その他	-	-	14,101	14,787	686
4				研究集会等参加事業(人権研修会等経費)	人権研修等の参加に要する経費		-	-	110	112	2
5				土地取得特別会計繰出金	土地取得特別会計への繰出金		-	-	49,106	53,549	4,443
6		○		<新>東西整備事務所保有車両リース化事業	東西整備事務所が保有する車両の一括リース化		-	-		5,120	5,120
7		○		<新>大都市土木協議会	政令都市が持ち回りで行う「大都市土木協議会」の会場費用等		-	-		685	685

平成29年度 課の事業一覧

組織名	建設局 管理課		重点項目	道路の適正管理					
課長名	橋本 武彦	コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	296,225 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
				平成28年度当初予算額(B)	302,513 千円		係長	3 人	
				増減額(A-B)	-6,288 千円		職員	8 人	
							101,500 千円		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				道路台帳整備	市の管理する道路の台帳図、調書を整備し保管する業務	道路台帳の整備	-	-	173,310	168,695	-4,615
2				道路不法占用物件除却 事業	道路交通の安全及び良好な景観を形成する上で支障となっている不法占用物件を除却し、道路利用の適正化を図るとともに、安全で快適な道路環境を保持するもの	道路不法占用物件の 除却	道路不法占用物件への 効果的な対応	警察等の関係機関と連携した是正、指導 及び、より実態に即した規定や運用の見直し を検討する。	1,965	1,965	0
3				屋外広告物規制事務	屋外広告物法及び条例に基づき、まちの良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、広告物の掲出方法・維持管理等について、規制・指導を行うもの	屋外広告物の規制	申請率の向上	まちづくり整備課の負担度等を考慮しながら、未申請広告物や違反広告物への対応 を検討する。	37,646	35,828	-1,818
4				道路管理システム	道路占用管理業務をコンピュータ処理することにより、占用許可業務の合理化、道路工事調整業務の迅速化及び事故防止対策の徹底、その他道路及び占用物件管理業務の高度化を図るもの	道路占用管理業務	-	-	69,588	69,588	0
5				土木管理一般	道路管理事務に係る一般事務経費	その他	-	-	20,004	20,149	145

平成29年度 課の事業一覧

組織名	建設局 用地管理課		重点項目	・地籍調査事業を計画に基づき着実に進めていく。						
	課長名	河田 守胤		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	91,535 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
						平成28年度当初予算額(B)	80,000 千円		係長 5 人	
						増減額(A-B)	11,535 千円		職員 16 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				地籍調査事業	国土調査法に基づき、一筆毎の土地の所在・筆界・面積等を調査・測量し、境界を明確化するもの。 調査の成果は法務局に送付後、登記に反映される。	土地境界等の明確化	—	—	80,000	91,535	11,535

平成29年度 課の事業一覧

組織名	建設局 道路部 (道路維持課、道路計画課、 道路建設課、街路課)		重点項目	本市の成長戦略及び都市の強靱化に大きく関わる路線、早期に整備効果が発現される路線を重点的に整備する。また、通学路の安全対策などを着実に実施し、安全で安心な都市基盤の整備を推進するとともに、橋梁・トンネルの長寿命化、道路構造物の定期点検を計画的に実施し、効率的で適正な維持管理に取り組む。					
	課長名	岩下 和弘 喜洲 淳哉 松本 公行 丹田 健二		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	23,251,153 千円	人件費	目安の金額
			平成28年度当初予算額(B)	23,862,573 千円		595,000 千円	係長		17 人
			増減額(A-B)	-611,420 千円			職員		49 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			東九州自動車道等整備 促進経費	東九州自動車道建設促進協議会および国道3号黒崎バイパス建設促進期成会等の要望活動にかかる経費。	東九州自動車道、国道3号(黒崎バイパス)等の整備促進	東九州地域のアクセス強化及び黒崎地区の交通渋滞の緩和	東九州地域間の交流促進や空港アクセス機能強化、黒崎地区の渋滞緩和による物流の効率化を図るため、協議会を通じ国等に積極的に働きかける。	4,272	4,272	0
2				施設維持管理事業(指定管理)	河内サイクリングセンターの管理運営業務に係る指定管理業務委託料	サイクリングセンターの管理運営	適切な施設の維持管理と安全で快適な利用環境の提供	指定管理者と協力し、効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	2,645	2,643	-2
3				施設維持管理事業	河内サイクリングセンターの施設運営及び維持管理経費				238	240	2
4				放置自転車対策事業(指定管理)	自転車駐車場の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	自転車駐車場の管理運営と放置自転車対策	安全・安心な駐輪環境の提供と効率的な自転車の管理運営	市営自転車駐車場の利用実態や周辺の放置自転車の状況等を総合的に勘案し、安全・安心な駐輪環境の提供と効率的な自転車駐車場の管理運営、放置自転車対策に取り組む。	226,498	226,433	-65
5				放置自転車対策事業	自転車駐車場の維持管理と放置自転車の撤去等に係る経費				70,129	69,142	-987
6				自転車利用促進事業(行政経費)	コミュニティサイクル(シティバイク)のステーション運営及び利用促進に係る経費	コミュニティサイクルステーションの運営	適切な施設の維持管理と安全で快適な利用環境の提供	効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	3,186	3,141	-45
7				若戸大橋安全対策推進事業(基金事業)	若戸大橋の改修工事に対して補助金を交付し、安全性の確保と走行性の向上を図る。	若戸大橋の安全確保	道路の老朽化に伴う維持管理費の増大、安全性の確保	道路構造物の定期点検、修繕を実施し、効率的・効果的な管理を実践する。	100,000	150,000	50,000
8				若戸大橋・若戸トンネル維持管理支援事業	若戸大橋および若戸トンネルの維持管理費用に対して補助金を交付し、両道路の安全を確保する。	若戸大橋・若戸トンネル無料化の早期実現			200,000	200,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9	○			防災・安全交付金(道路維持)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施する。	道路の適切な維持管理	道路の老朽化に伴う維持管理費の増大、安全性の確保	道路構造物の定期点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、効率的・効果的な管理を実践する。	2,700,000	2,280,000	-420,000
10	○		単独事業(道路維持)	道路舗装等の道路施設の補修を実施する。	1,795,800				1,815,800	20,000	
11	○		市民による地域のまちづくり整備事業(道路維持)	身近な生活道路の環境整備や補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進する。	682,200				682,200	0	
12			にぎわいの都市づくり(道路維持)	都心・副都心及び主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を行う。	322,000				322,000	0	
13			道路一般維持	生活道路等の維持管理を実施するための経費。	1,255,979				1,316,903	60,924	
14			道路管理施設維持	道路照明灯やトンネルなどの施設を維持管理するための経費。	672,000				612,000	-60,000	
15	○			<新>道路一般維持(国道200号)	国からの権限移譲に伴う、国道200号の維持管理を実施する経費。	国道200号の維持管理			44,000	44,000	
16	○			道路サポーター	道路の清掃や花壇の手入れなどを行う地域団体の活動を支援し、道路の美化につなげる。	地域団体との協働による道路美化	道路を良好な環境に保つための道路維持	市民と行政の協働による道路の美化清掃、道路異常箇所の通報などの活動により、良好な道路環境の維持につなげる。	17,810	17,810	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
17	○			恒見朽網線関連事業(道路改築)	新門司港、北九州空港移転跡地、臨空産業団地、北九州空港などの産業物流拠点が集積する周防灘沿岸部の物流機能強化を目的に恒見朽網線などの道路整備を行う。	恒見朽網線等の道路整備	周防灘沿岸部の物流機能強化及び周国道10号、門司行橋線などの交通渋滞の緩和	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	500,000	900,000	400,000
18		○	八幡東区倉庫移転事業(黒崎バイパス関連事業)(道路改築)	八幡東区所有の倉庫が、国道3号黒崎バイパス整備の支障となるため撤去する。	国道3号黒崎バイパス整備で支障となる八幡東区倉庫の撤去	—	—		16,000		-16,000
19	○		国直轄事業負担金	国が実施する道路新設改良事業等に係る経費を一部負担する。	新設改良を行う道路の整備	計画的な事業の進捗	—		850,000	750,000	-100,000
20	○		社会資本整備総合交付金(道路改築)(債務負担)	国道や地方道の道路新設改良を行う。					1,013,000	535,000	-478,000
21	○		社会資本整備総合交付金(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。					1,127,000	884,000	-243,000
22	○		単独事業(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。					794,000	931,000	137,000
23			防災・安全交付金(交通安全)(債務負担)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。	交通安全施設の整備	交通事故の抑制、歩行者の交通安全対策	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。		110,000	110,000	
24	○		防災・安全交付金(交通安全)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。				1,440,000	1,060,000	-380,000	
25	○		都市再生整備計画(交通安全)	都市再生整備計画で整備する主要な施設の周辺道路において、交通安全対策を行う。				120,000	190,000	70,000	
26	○		単独事業(交通安全)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。				1,040,000	1,040,000	0	
27		○	小倉都心部集客アクションプラン推進事業	小倉都心部のにぎわいづくりのため、歩行空間の魅力アップを行う。	歩行空間の整備	—	—	150,000		-150,000	
28	○		都市再生整備計画(道路景観)	小倉都心地区、黒崎副都心地区にふさわしい、景観に配慮した道路の整備を行う。	景観に配慮した道路の整備	小倉都心地区、黒崎副都心地区の美しい都市景観の創出	小倉都心地区、黒崎副都心地区のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施する。	100,000	0	-100,000	
29	○		単独事業(道路景観)	世界の環境首都をめざし、景観や環境に配慮した道路の整備を行う。		美しい都市景観の創出	本市のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施する。	250,000	300,000	50,000	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
30	○			戸畑枝光線(街路)	企業進出が進む響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区の物流機能強化を目的に戸畑枝光線の整備を行う。	戸畑枝光線の道路整備	響灘地区への物流機能強化及び八幡戸畑線などの交通渋滞の緩和		1,000,000	1,000,000	0
31	○			社会資本整備総合交付金(街路)(債務負担)	地方道の都市計画道路の整備を行う。			事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	600,000	2,213,964	1,613,964
32	○		○	都市再生整備計画(街路)(債務負担)	都市再生整備計画における都市計画道路の整備を行う。				231,195		-231,195
33	○			社会資本整備総合交付金(街路)	地方道の都市計画道路の整備を行う。	都市計画道路の整備	計画的な事業の進捗		2,618,805	1,546,036	-1,072,769
34	○		○	都市再生整備計画(街路)	都市再生整備計画における都市計画道路の整備を行う。				130,000		-130,000
35	○			単独事業(街路)	地方道の都市計画道路の整備を行う。				810,000	810,000	0
36	○	○		<新>モノレール停留場 老朽化対策事業	モノレール停留場における老朽化対策を実施する。	モノレール停留場の適切な維持管理	モノレール停留場の老朽化に伴う維持管理費の増大、安全性の確保		点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、効率的・効果的な管理を実践する。		180,000
37				公債償還特別会計繰出金	-	-	-	-	619,816	654,569	34,753
38				街路事業用地先行取得事業	街路事業用地の先行取得を実施する。	都市計画道路の事業用地の確保	-	-	2,400,000	2,400,000	0

平成29年度 課の事業一覧

組織名	建設局 公園管理課		重点項目	公園、霊園及び街路樹等の適切な維持管理の実施。							
	課長名	菊山 修一		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	2,652,443 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
平成28年度当初予算額(B)			2,666,059 千円			76,500 千円	係長		2 人		
					増減額(A-B)	-13,616 千円					
								職員	6 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				有料施設等管理委託 (指定管理者)	「響灘緑地」、「平尾台自然の郷」、「山田緑地」、「到津の森公園・ひびき動物ワールド」、「白野江植物公園」、「志井ファミリープール」、「勝山公園・あさの夕風公園」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	有料施設等の維持管理	-	-	758,899	823,590	64,691
2				有料施設等管理委託 (財源配分)	市立霊園に係る管理運営経費 及び 有料公園施設の備品購入経費		-	-	62,634	62,135	-499
3				到津の森公園基金積立 事業	到津の森公園基金積立事業	到津の森公園基金への積立	-	-	17,030	19,000	1,970
4				到津の森公園動物導入 事業	アムールトラ導入事業	到津の森公園の展示動物の充実	-	-	5,000	5,000	0
5				公園等維持管理事業	市内全域公園等の維持管理事業	公園等の維持管理	-	-	1,588,007	1,520,034	-67,973
6			自然保護管理	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の維持管理事業	-		-	2,475	2,478	3	
7			公園等一般管理(維持& 内部管理)	市内無料公園の維持管理事業	-		-	215,543	203,373	-12,170	
8	○		公園管理活性化事業	公園愛護会事業及びホームレス対策事業	-		-	6,235	6,097	-138	
9				市立霊園使用促進業務	市立霊園有効利用のための未使用区画及び無縁墳墓調査等整理事業	未使用区画等の整理による霊園の有効利用	-	-	4,736	4,736	0
10				菜園などの地域コミュニティ 活性化に資する公園 活用事業	高齢者の健康づくりや世代間交流の場となる「地域菜園」や「花壇」など、地域のニーズに応じた整備事業	地域コミュニティ活性化のための公園整備	-	-	3,000	3,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11			○	勝山公園等民間活力導入推進事業	勝山公園、あさの汐風公園における賑わいの創出や効率的な維持管理を行うために、民間の自由な発想やノウハウを活かした指定管理者制度による管理運営や、設置許可による便益施設の設置等の民間活力導入について検討を行うもの。	勝山公園等への民間活力導入推進	—	—	2,500		-2,500
12		○		<新>今後の公園管理のあり方検討事業	将来に渡って安定的に公園を維持管理し、公園利用の活性化を図っていくための新たな仕組みについて調査・検討を行う。	公園の維持管理に関する新たな仕組みづくり	—	—		3,000	3,000

平成29年度 課の事業一覧

組織名	建設局 緑政課		重点項目 ■環境首都にふさわしい緑のシンボルづくり(曾根・豊岡地区) ■交流人口の増加に資する集客力の高い公園の整備(皿倉山周辺地区、勝山公園(小倉城周辺)) ■地域ニーズに対応した身近な公園の再整備(地域に役立つ公園づくり、健康づくり、長寿化ほか) ■市民ニーズを踏まえた公園の統廃合・再編(桃園公園施設再配置推進ほか)								
	課長名	柴田 英博		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	2,137,420 千円	目安の金額	課長	1 人	
						平成28年度当初予算額(B)	2,187,300 千円		94,000 千円	係長	3 人
						増減額(A-B)	-49,880 千円			職員	7 人
		人件費									

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				皿倉山リニューアル事業	平成27年度に官営八幡製鉄所関連施設が世界文化遺産に登録されたことを契機に、観光振興をさらに向上させるため、皿倉山周辺の新たな魅力創出のための山頂エリアの施設整備や駐車場整備などを行うもの。	観光振興、賑わい創出	山頂エリアの魅力向上	ケーブル終着駅である山頂エリアにおいて、観光と滞留時間を延ばせる施設として、遊具広場の整備を重点的に行う。	15,000	30,000	15,000
2				勝山公園(小倉城周辺)魅力向上事業	小倉城周辺の歴史的・文化的なイメージを生かし、あわせて利便性や魅力向上のため、園路及び広場、サクラの更新などを行い、回遊性のある名所としていくもの。	観光振興、賑わい創出	-	-	20,000	125,500	105,500
3				桃園公園施設再配置推進事業	桃園公園にあるスポーツ・文化施設の再整備について、広域的・長期的な視点から検討を行い、施設の再配置計画を策定するもの。	公園施設を含めた施設再配置計画の策定	-	-	8,000	8,000	0
4			○	浅野町緑地整備事業	小倉駅新幹線口地区の集客や賑わい創出のため、「北九州スタジアム」隣接地に広場を整備するもの。	新幹線口地区の賑わい創出	-	-	100,000		-100,000
5				曾根・豊岡地区公園整備事業	曾根・豊岡地区(9.7ha)において、グラウンド、野鳥観察エリアなどの整備を行う。	旧空港跡地の緑地整備	計画的な事業の推進	早期開設にむけて、関係機関と調整を行い、円滑に事業を推進する。	220,000	150,000	-70,000
6				北九州市民球場改修事業	市民や野球関係者から要望のある老朽化した内野指定席の改修、建築物の耐震工事を行う。	観覧環境の向上	-	-	30,000	89,000	59,000
7				登山道・遊歩道の整備	登山ブームやH28年に施行される「山の日」に対応し、眺望の確保や標識の設置、危険箇所などの改修を行うもの	登山道の利便性向上	-	-	14,000	12,000	-2,000
8			○	おひさま花壇整備事業(市民太陽光発電還元事業)	小倉駅新幹線口、市庁舎前に高品質な緑化空間を設け、都市のうらおい空間を提供するとともに都市緑化の効用をPRする	高品質な公共花壇の整備	-	-	2,000		-2,000
9	○			社会資本整備総合交付金(公園)	都市公園を整備し、市民満足度の向上を図る。	公園の再整備・統廃合や、施設の再編、緑地保全の推進	公園機能の再編と地域ニーズの掘り起こし。公マネと連携した公園施設の再編	地域ニーズを踏まえた公園再整備や公共施設マネージメント実行計画沿った公園施設の再編に取り組む。	267,000	332,200	65,200

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				都市再生整備計画(公園)	都市再生整備計画区域において、都市公園の整備を行う。	地区の目的に応じた公園の整備	—	—	86,000	17,600	-68,400
11				防災・安全交付金(公園)	防災公園を含めた都市公園を整備・改修し、非常時、通常時を含めた安全性の確保を図る。	防災公園の整備、長寿命化の推進等	公園の老朽化に伴う維持管理費の増大、安全性の確保	長寿命化計画に基づく施設改修やバリアフリー、建物耐震化など安全・安心な公園利用を推進する。	200,000	135,700	-64,300
12	○			公園緑地事業(単独)	住区基幹公園、都市基幹公園等の整備を行う。	公園の施設改修			1,041,490	974,825	-66,665
13				霊園整備事業	霊園の園路改修や樹木整理を行う。	霊園の施設改修	施設の老朽化	歩道の改修、手摺の設置等を行い、利用しやすい霊園を目指す。	48,410	51,725	3,315
14				市民による地域のまちづくり整備事業(公園)	市民等の要望に応じて、公園の改修等を行う。	公園の施設改修	—	—	10,000	10,000	0
15				到津の森公園希少動物の保護、導入事業	マダガスカル共和国と本市が共同で、繁殖プロジェクトと教育プロジェクトを実施する。	希少動物の保護・繁殖、到津の森公園の自然環境教育機能の向上等	—	—	17,500	17,500	0
16	○			花と緑のまちづくり推進	市民花壇、公共花壇などの整備や都市緑化に関する普及啓発事業を行う。また都市緑地法第二条に基づく、「緑の基本計画」を推進する。	市民花壇、公共花壇等の整備、都市緑化に関する普及啓発、緑の基本計画の推進	更なる都市景観の向上	都市景観の魅力向上を図るため、公共花壇の効率的な配置を進めると共に、維持管理の質の向上に努める。また、市民花壇への加入を推進し、地域に根ざした花づくり活動の場を拡大する。	85,600	80,950	-4,650
17				大都市公園機能実態調査	国土交通省、大都市(21市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行う。	公園機能の調査	—	—	2,500	2,500	0
18				水と緑の街づくり事業	水と緑の基金を原資とし、民有地緑化助成事業、保存樹診断事業を行う。	都市緑化の推進	—	—	6,800	1,820	-4,980
19				水と緑の基金積立金	水と緑の基金の運用益、寄付金を積み立てる。	水と緑の基金への積立	—	—	13,000	2,500	-10,500
20		○		<新>旧安川邸利活用事業	夜宮公園に隣接する私設の建造物を市に寄付で受け入れ、観光施設として改修するもの。	観光振興、賑わい創出	—	—		30,000	30,000
21		○		<新>河内温泉改修事業	老朽化している河内温泉の屋根、省エネシステムの設計	観光振興、賑わい創出	—	—		65,600	65,600

平成29年度 課の事業一覧

組織名	建設局 河川部 (水環境課、河川整備課、 神嶽川巨過地区整備室)		重点項目 ○小倉都心部の浸水対策については、引続き重点的に取り組む。 ○その他の地区についても、近年頻発する豪雨災害を踏まえ、計画的な河川改修を推進する。			
	課長名	關川 進太郎 清水 俊光 船越 英明		コスト		
		事業費	平成29年度当初予算額(A) 2,285,641 千円	人件費	目安の金額	課長 3 人
			平成28年度当初予算額(B) 2,365,415 千円		254,500 千円	係長 7 人
			増減額(A-B) -79,774 千円			職員 20 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			重点河川(小倉都心部) 整備事業	新成長戦略上も重要な、小倉都心部の浸水対策を推進するため、神嶽川を重点河川と位置づけ、集中的に河川改修を行う	治水対策等の河川整備	-	-	402,000	306,000	-96,000
2	○			巨過地区再整備推進事業	重点河川(神嶽川)の改修に必要な巨過地区の再整備について、地元関係者との合意形成を図りながら事業化組織の設立を行う				18,000	20,000	2,000
3				河川管理施設等更新事業	老朽化した河川管理施設等を適切に更新するための経費				82,500	74,870	-7,630
4	○			防災・安全交付金(河川)	市内を流れる一・二級河川について、管理者である福岡県と協議の上、改修を行うもの				723,000	770,000	47,000
5	○			社会資本整備総合交付金(河川)	市民が河川を通して自然と親しめる水辺環境づくりを行う				15,000	3,000	-12,000
6				都市再生整備計画(河川)	河川管理道に照明を設置する等、中心市街地の活性化に資する事業を行うもの				14,500	2,000	-12,500
7	○			河川改良(単独)	河川の溢水による浸水被害を防ぐため、護岸の整備などを行うもの				613,400	600,330	-13,070
8				市民による地域のまちづくり整備事業(河川)	各区まちづくり整備課において、市民要望を反映した身近なまちづくりの環境整備を行うもの				40,000	40,000	0
9				河川情報システム更新事業	設備の老朽化や複雑化により、不具合が発生している河川情報システムの更新・統合を進め、システムの安定化・簡素化を図る。	システム機器類更新と併せて、ネットワークの簡素化を行う。	-	-	30,000	34,000	4,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				にぎわいの都市づくり(河川)	紫川周辺の河川環境の向上および、街のにぎわいに資する水辺の活用、周辺設備の充実を図るもの				26,600	24,800	-1,800
11				河川環境啓発推進事業	河川愛護団体間の交流促進事業、河川事業のPR、川についての知識や技術をもった「水先案内人」の育成などを行うもの	イベント支援、除草・清掃等による河川愛護の啓発および水辺の活用	都心部におけるにぎわいづくりに向けた取り組みを強化する必要がある	イベントの実施に当たっては、これまで以上に他のイベントとの相乗効果を狙う(日程調整、台詞のPRなど)	1,994	669	-1,325
12				小倉都心部集客アクションプラン推進事業(河川)	①公共空間の魅力アップ、②歩いてみたくなる歩行空間の創出により、市民や来街者の行動範囲を広げ、滞在時間を延ばすことを目指す				35,000	35,000	0
13				河川管理施設長寿命化計画策定	予防保全的な取り組みにより、河川施設の長寿命化を推進し、改修費の縮減を図る	河川施設の長寿命化改修費の縮減	河川施設(護岸、暗渠、管理橋など)の老朽化が進んでいる	維持管理計画を策定し、予防保全的な取り組みを推進する	3,000	29,000	26,000
14				水環境館維持管理(指定管理)	「水環境館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	水環境館の維持管理	-	-	25,738	25,738	0
15				水環境館維持管理	機器修繕費等、水環境館の維持管理経費				7,570	7,570	0
16				ほたる館維持管理(指定管理)	「北九州市ほたる館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	ほたる館の維持管理	-	-	15,021	14,867	-154
17				ほたる館維持管理	「北九州市ほたる館」および「香月・黒川ほたる館」の維持管理経費				8,720	8,720	0
18				ほたるのふるさとづくり	ほたる愛護団体への補助、地域における環境保全活動の指導者を育成する「ほたる塾」の開催費など	ホタル保護育成活動の支援	ほたる保護活動の活発化や団体間の交流促進を図る必要がある	ほたる塾の見直し等、多くの市民が水辺環境について学ぶ環境を整備する	6,230	4,340	-1,890
19				河川台帳整備事業	河川及び水路の管理のため、その台帳等を整備するもの				8,059	8,059	0
20				河川管理権限委譲	一・二級河川について、福岡県からの河川管理権限の委譲について必要な協議を行うための経費				477	456	-21
21	○			河川維持事業	河川・水路の草刈、浚渫、護岸修繕工事等に要する経費および河川愛護団体補助金	河川の維持管理	-	-	207,800	199,284	-8,516
22				河川管理一般	河川賠償責任保険料、河川情報システムの通信料など、河川管理に必要な経費				20,550	16,682	-3,868
23				排水機場等維持管理事業	排水機場並びに防潮水門等の施設を適切に維持管理し、施設の正常な運転を行うための経費				60,256	60,256	0